



毛呂山中だより



【学校教育目標】「夢をもち世界にはばたく毛呂山の子ども」 自ら学び 共感し 行動できる生徒
【目指す学校像】「一人一人が輝く学校 地域と共に歩む学校」 文責 前田 伸吾

「卒業おめでとうございます」 夢をもち世界にはばたけ毛呂山中の子ども 「1年間ご支援、ご協力ありがとうございました」

3月は、様々な生き物が新たな息吹を感じて活動を始め、花開く春がやってくる時期です。私たちにとっても、新たな目標に向けて旅立つ時期でもあります。一年間、四季の移ろいの中で成長をした子どもたちには、春の新たな息吹を胸に抱いて、それぞれ一つ上のステージへとステップアップしてほしいと思います。今年度は、122名の生徒が卒業を迎え、それぞれの進路先に向かって羽ばたいていきました。別れは寂しいことでもあります。次のステップに向かう旅立ちの機会でもあり、これまでとは違う新しい人たちと知り合う機会でもあります。それぞれの新しい場所で、自分をさらに磨き上げ、成長してほしいと思います。地域の皆様には、今後も様々な場面で、地域で育つ卒業生を見守っていただくとともに、温かい言葉をかけていただければ幸いです。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様、本当に、1年間ご支援、ご協力ありがとうございました。今後とも、よろしくお願ひします。

【校長式辞より】今日は、卒業生の皆さんに、校長として最後のお話をします。「雨だれ石をうがť」ということわざを聞いたことがありますか。「雨だれ」というのは、屋根や軒先からぱたぱたと落ちる雨のしずくのことです。また、「石をうがť」の「うがť」とは、穴をあけるとか、突き抜けるという意味で、「石をうがť」とは「石に穴をあける」という意味になります。つまり、屋根から落ちる雨だれのような小さなしずくでも、長い間ずっと同じところに落ち続けると、硬い石に穴をあけてしまうことがあるということです。

このことから、小さな力でも根気よく努力すれば、いつかはその結果として大きな成果が得られるということを表したことわざになります。石に穴をあけることは、簡単ではありません。強く叩けば、石が割れてしまいます。ですから、長い時間をかけてじっくりと同じことをただひたすらにやり続けるということが、硬い石に穴をあけるという一見できそうもないようなことを実現することができるということです。

今、中学校を巣立とうとしている卒業生の皆さんには、きっとこれから目指す自分自身の姿があるのだらうと思います。その「なりたい自分」になるためには、どんな努力が必要なのでしょう。その必要な努力をこの雨だれのように、地道に落とし続けてください。あせっても、石が割れてしまうので、時間をかけてじっくりと取り組んでほしいと思います。

「雨だれ石をうがť」ということわざの「石をうがť」という結果は、はじめから期待できるものではありません。続けて努力することをあきらめないで行うことで、結果が後からついてくるものです。したがって、地道にこつこつと毎日欠かさずに行うことに価値を感じて黙々と取り組むことが大切なのです。

4月の主な行事予定

3月27日(金)～4月7日(火)		学年末休業日・春季休業日	
4月 7日(火)	準備登校	8:25	(新2, 3年生)
8日(水)	入学式・始業式	11:35	下校(全学年)
9日(木)	登校指導	身体測定	(3年生) 教科書配布予定
10日(金)	身体測定	(1年生)	新入生オリエンテーション
13日(月)	給食・清掃・朝読書開始	身体測定	(2年生・A組) 眼科検診
14日(火)	生徒朝会	(生徒会本部)	
15日(水)	避難訓練	仮時間割開始	仮入部①
16日(木)	専門委員会①		
17日(金)	学校公開日	1学年保護者会・A組	仮入部②
21日(火)	生徒朝会(体育委員会)	全国学力学習状況調査①	(3年生) 仮入部③
22日(水)	前期I時間割開始	耳鼻科検診	(A組・3年生)
23日(木)	全国学力学習状況調査②	(国・数)	(3年生) 仮入部④
24日(金)	学校公開日	2, 3学年保護者会	仮入部⑤
27日(月)	開校記念日(開校80周年)	入部届提出・本入部	人権週間
28日(火)	学年朝会	自転車点検	
29日(水)	昭和の日		
30日(木)	内科検診	(A組・3年生)	
5月 1日(金)	部活動保護者会	PTA総会	(書面)



3年生を送る会



3月5日(木)に3年生を送る会を行いました。生徒たちはこの日に向けて、各学年の発表や司会などの練習に取り組んできました。吹奏楽部の演奏による入場に始まり、生徒会本部の発表の後、1年生の発表では、3年生一人ひとりの呼名を皮切りに、メッセージを込めながらのライトステックを振りかざし、ダンス「Butter-Fly」を披露してくれました。最後は、3年生を取り囲み、1年生全員による「正解」の歌と共にエールを送りました。2年生の発表では、「毛呂山の壁」と題して、3年間の思い出を振り返りました。3年生がお世話になった先生方に扮したパフォーマンスは、会場に笑顔の花を咲かせていました。終盤では、合唱に取り組む生徒たちが「感動の壁」を3年生と共に乗り越える姿があり、まさに3年生から在校生へのバトンが引き継がれた瞬間でした。もしかしたら、最初は、3年生のように上手に速くは走れないかもしれませんが、でも、バトンをしっかりと受け取り、次につなぐように頑張ってください。全ての発表が終わった時、3年生は1, 2年生の頑張りを、とても頼もしく感じていた様子でした。そして、「これで安心して卒業できる」と思ったことでしょう。1, 2年生からの感謝の気持ちが届いた3年生も、この毛呂山中学校に改めて感謝の気持ちをもつことができたでしょう。心のこもった、素敵な会をありがとうございました。

